

改訂にあたって

「第2次とよなか水未来構想」は、目標年度である令和9年度（2027年度）に向けて、社会環境の変化や、達成状況を踏まえたフォローアップを3年ごとに行うこととしています。

これまでの間、「第2次とよなか水未来構想」に掲げた6つの将来像を実現していくために、毎年度「実行計画」を再編成しながら取り組みを進め、評価を行ってきました。この3年間を振り返りますと、老朽化する施設への対応や、災害に備えた耐震化といった整備は概ね計画どおり進んでいます。また、経営状況につきましても、水需要の減少による収益の確保が厳しい状況に変わりはないものの、利益や資金は当時の推計を上回るなど順調に推移しています。

このように、これまでの検証結果を踏まえると、めざすべき将来像や具体的施策については、見直しを要するものではありません。しかしながら、お客さまにとって、安心・信頼の上下水道局であるためには、事業への理解が深まる情報発信や、さらなる安定経営につなぐ精緻な財政計画などが必要になることから、今般、達成状況の反映と、実績を踏まえた新たな経営シミュレーションなどの改訂を行うものです。

なお、改訂にあたりましては、これまでの達成状況を踏まえていることから、その履歴を巻末に資料として取りまとめるものとしております。

令和3年（2021年）2月
豊中市上下水道事業管理者
吉田 久芳

“ 信頼され 親しまれる 上下水道 ”

基本理念

健康の維持、うるおいと憩い、快適な暮らし、持続可能な産業経済活動…
いつもそこには「水」があります。

豊中市上下水道局では、こうした貴重な地球資源である「水」を、お客さまのもとまで安全に送り届け、安心してご利用いただくとともに、利用された水や雨水を適正に処理し、再び自然界の水循環系に戻しながら、「地球環境の保全」、「住民参加による健全な水循環・水環境の創出」、そして「持続的に発展可能な都市産業活動」などに貢献していきたいと考えています。

また、社会環境は日々変化しますが、水はお客さまにとって未来永劫、欠かすことのできないものであり、こうした水を将来にわたり守り続けていくためにも、公営企業である豊中市上下水道局として、安定した経営に努めていかなければならないと考えています。

わたしたちは、以上のような活動を通じて、お客さまに信頼され、親しみをもっていただけるような上下水道事業をめざしていきます。

豊中市上下水道事業管理者

目次 CONTENTS

第1章

策定にあたって	6
策定の経緯	6
第2次とよなか水未来構想の位置づけや期間等	8

第2章

上下水道を取り巻く状況	10
人口と水需要の動向	10
水源と水質	12
施設の老朽化	13
自然災害リスクの増大	14
環境対策	16
経営基盤の現状	18
経営状況	22
お客さまニーズの多様化	25

第3章

経営シミュレーション	28
収益環境の見通し	28
経営シミュレーション	29

第4章

めざすべき将来像	38
将来像1 いつでも安心して利用できる水を供給します	
1-1 高度な浄水処理技術と水質管理	42
1-2 給水装置等での水質管理	44
将来像2 快適な暮らしとまちづくりを支えます	
2-1 水道施設の継続的な維持管理と改築更新	46
2-2 下水道施設の継続的な維持管理と改築更新	48

将来像3 災害に強い上下水道を構築します	
3-1 施設の耐震化	50
3-2 浸水対策	52
3-3 危機管理体制の強化	54
将来像4 環境にやさしい事業を展開します	
4-1 環境対策	56
4-2 合流式下水道の改善	58
将来像5 次世代につなげるために経営基盤を強化します	
5-1 財政基盤の強化	60
5-2 新たな料金・使用料水準及び体系の検討	63
5-3 経営資源“人材”の確保	66
将来像6 お客さまに満足していただける事業活動を実施します	
6-1 広報・広聴・啓発活動の充実	68
6-2 お客さまサービスの充実	70

第5章

計画の進行管理	72
実行計画の策定	72
計画のフォローアップ	73
アセットマネジメント手法の導入	73

【資料編】

水道事業の沿革と施設配置	76
下水道事業の沿革と施設配置	78
猪名川流域下水道（原田処理場）	80
アンケート調査	82
取組項目と管理指標、関連指標の関係	83
改訂履歴	87
「第2次とよなか水未来構想」策定までの経過	95
「第2次とよなか水未来構想」策定から改訂（1回目）までの経過	95
用語解説	96